2023年度　日本工学院専門学校

ＩＴスペシャリスト科

インターンシップ４

対象	４年次	開講期	後期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	白幡 知之			実務経験	有	職種	システムエンジニア				

担当教員紹介

独立系SI企業にて主にプログラマとして勤務。携帯電話基地局の交換機、光ファイバーストリーミング映像配信システム、ビル防犯システム、プラズマテレビを使用した遠隔会議システムの開発などに携わる。

授業概要

インターンシップとは、学生が在学期間中に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うことを指す。本カレッジのインターンシップは、産業界の協力を得て実践的な体験と動機づけにより将来の企業人を育成することを目的とする。インターンシップでは、企業活動の一端に触れることにより、次の事項に関してなんらかの学習効果を期待する。１つ目に 企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解すること。２つ目に企業の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解すること。３つ目に学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを確認し、今後の学習への動機づけをすることである。

到達目標

学生が在学期間中に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行い、実践的な体験と動機づけにより将来の企業人を育成することを到達目標とする。具体的には、企業における仕事の流れと仕事の進め方を理解すること。企業の組織構造、および組織における人間関係やルールを理解すること。学校で学んだ知識が社会でどのように活かせるかを確認し、今後の学習への動機づけをすることを目標とする。今後の学生生活で学んだことが活かせるようにインターンシップ前に各自が目標を立ててから参加してほしい。

授業方法

インターンシップとは「就労体験」のことである。本カレッジの場合は、長期のインターンシップを夏休みに実施している。夏季インターンシップは学校のサポートのもと３年次の８～９月の夏休み期間に実施される。インターンシップの期間は１週間～２週間が多い。学校の授業で学習した内容を活かす場でもあり、実践的なカリキュラムが各企業で実施される。実習は、受入先企業、あるいはそのユーザ先企業の社内となっている。最終的な評価については各企業の担当者の方に依頼する。

成績評価方法

試験・課題　70%　課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価
成果発表　　20%　授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価
平常点　　10%　積極的な

履修上の注意

インターンシップ開始前に担当教員と顔合わせに行く。また、インターンシップ活動賠償責任保険（総合賠償責任保険）に事前に加入すること。勤務時は受入先から特に指定がない場合は原則、スーツを着用する。期間中に電車遅延や体調不良で遅刻・欠勤する場合は必ず電話連絡すること。無断欠勤や勤務時の態度が悪い場合は、インターンシップを中断する可能性があるので、やむ得ない事情がある場合は、受入先企業、担任に速やかに連絡する。その他、社会人として必須のマナーを守ってインターンシップに参加すること。

教科書教材

資料を配布する

回数	授業計画
第1回	インターンシップ参加⑴　会社概要、就業規則及び情報セキュリティの説明、実習の内容などを理解する
第2回	インターンシップ参加⑵　他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける
第3回	インターンシップ参加⑶　他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける
第4回	インターンシップ参加(4)　他の参加学生と交流しながらグループワーク中心に実習を体験し、協調性などを身に付ける
第5回	成果報告会の実施　各企業で成果報告会の実施、報告書の作成などを実施する